

浦の星吹奏楽部 活動再開に際してのガイドライン

浦吹運営チーム

1. はじめに

このガイドラインは浦の星吹奏楽部が9月から実際に集まったの活動を再開していくにあたって、参加や練習会場の選定基準、新型コロナウイルスの対策などについてまとめたものになります。

2. 新型コロナウイルスの症状や感染経路、対策案について

【症状】

- ✓主な症状・・・熱・咳・だるさ
- ✓その他症状・・・鼻水・くしゃみ・のどの痛み・下痢

【経過】

感染してから症状が出るまで(潜伏期間)は約1-12(多くは3-7)日間と推定されています。

無症状の人から感染するかどうかは、まだわかっていません。

- ✓軽症の人・・・普通の風邪のような症状で、特に治療しなくても1週間ほどで治るといわれています。
- ✓重症の人・・・重症になる方は少ないです。

重症になる場合は、はじめに症状がでてから約1週間後に呼吸が苦しくなるなどの症状が出ます。

※中国から発表された4万人のデータによれば8割が軽症とされています。

【感染経路】

- ✓飛沫感染・・・くしゃみや咳、つばなどに含まれるウイルスを、他者が口や鼻から吸い込んで感染します。
 - ✓接触感染・・・感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付きます。
- 他者がその物に触って、ウイルスが付いた手で口や鼻を触っても感染します。

【感染の予防方法】

- ✓石けんによる手洗いや、アルコール消毒液などによる手指消毒。
- ✓咳やくしゃみなどの症状があるひとの、咳エチケット。
(咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえること)
- ✓十分な睡眠時間の確保など、体の休息。

【感染力】

1人の感染している人から1.4-2.5人が感染すると言われています。

毎年冬に流行するインフルエンザは1-2人ですので、ちょうどインフルエンザと同じくらいの感染力です。

以上の症状や対策法を踏まえ、感染を防ぐために

- a. 練習参加前後の体調確認や移動時の感染防止
- b. 練習中の3密回避や消毒・換気などの徹底
- c. a,bを実践するための会場の確保やスケジュールリングのやり方の見直し

ということが重要になってきます。これらの点を考慮し、浦の星吹奏楽部の活動における各行動を精査し、以下に活動の際の注意点をまとめました。

3. 練習参加前後、練習時間外における注意点

●基本方針●

・練習に参加するか否かの判断は、各部員の皆様にお任せします。当日体調を崩し、欠席の連絡を入れるのは構いませんが、当日に予定が空いて参加できるようになった場合の参加、所謂「ドタ参」は基本的に受け入れません。

・練習前に検温とアルコール消毒を行います。検温は練習会場に入る前に非接触型の検温器で体温を測定し、37.5℃以上であった場合は練習への参加は断念して頂き、速やかに帰宅して頂きます。

・練習には必ずマスクを着用のこと。なかった場合の貸し出しや提供はしません。楽器を吹くとき、飲み物を飲むとき以外は基本的にマスクの着用をお願いします。

●練習および本番の参加条件●

①練習当日の検温で37.5℃未満であること。

可能であれば練習場所に来る前に測定してきていただきたく存じます。

いずれにしても会場に入る前の検温は行います。

37.5℃未満でも37℃を超える場合は自粛が望ましいです。

②コロナウイルス肺炎・インフルエンザなどの感染症に2020年1月1日以降に罹患していないこと。

現在は症状がない場合も不可。復帰の基準としまして、直近2回の練習を欠席して頂きます。

おそらく1~2ヶ月の期間が開くので、その間に療養して頂く形となります。

練習と練習の間が空きすぎてしまう場合は別途相談という形式を取らせていただきます。

③コロナウイルスの感染が確認された人と家庭や職場や学校といった場所で接触していないこと。

④2020年1月1日以降に日本以外の国・地域への渡航がないこと。

上記③、④に該当する場合で、ウイルス検査を受け陰性判定となっている場合は参加可とします。

ただし特に入念な感染症予防措置を講じること。

4.練習中の注意点

(1)楽器運搬について

- 1-1.なるべく他の人の楽器には触れないようにしましょう。
- 1-2.パーカッションの運搬についてはやむを得ない場合もあるが可能な限り軍手や手袋の着用をお願いします場合があります。運搬待機で並ぶ際の3密回避にも心がけるようにしましょう。
- 1-3.可能な限り多くの人を利用する交通手段での移動・運搬は避け、部員どうしで車に乗り合わせるなど、極力3密を回避できる方法での移動をお願いしたく存じます。

(2)セッティングについて

奏者間の間隔は沼津市民文化センター(以下“沼文”と表記)の新たな利用基準では 1.5メートルが推奨されているので基本的にこちらに沿う形とする。ピコ 21 のような会場でも 1メートルは取るようにしましょう。

(3)唾抜きなどについて

- 3-1.金管楽器の唾抜きは絶対に会場の床にしないこと。ビニール袋やタオル・ハンカチ等を用いて各自で処理する。唾抜きの共有は禁止。万が一、床にこぼれた場合は速やかに拭きましょう。
- 3-2.木管楽器はスワブの取り扱いなどを細心の注意を払うこと。東京都交響楽団の実験結果に基づいて、オーボエとクラリネットについては楽器内で起こる結露で発生する水滴がしたたり落ちないように注意し、フルートについては他の管楽器よりも間隔を広めにとり、合奏時は直線状にセッティングし一方向に向かうようにしましょう。
- 3-3.打楽器のマレットやスティックについては手袋をつける、消毒を行うなどの対策を講じる。スティックやマレットは可能な限り個人の物を使用し、他者と共有しない。もしも共用で楽器を使用する際は使用者が変わる度に除菌を行ってください。

(4)合奏について

- 4-1.楽器を吹いているときと飲み物を飲むときを除き、基本的にはマスクを着用するようにする。咳エチケットも実践する。
- 4-2.飲食物の共有は禁止。
- 4-3.“マスクを外す→楽器を吹く→マスクを着用する→指揮者コメント”の繰り返しで合奏を進める。
- 4-4.会話は極力控える。
- 4-5.体調に異変を感じた場合はすぐに申し出る。

(5)練習開始時、終了時のミーティングについて

練習会場入り口付近での密集を避けるために、極力事前の連絡事項はグループライン・サークルスクエアにて行い、開始前のミーティングは基本的に行わない。練習後の連絡事項についても極力会場内で済ませ、運搬終了後に練習会場入り口付近に密集した状態でミーティングを行うことはしない。

5.練習日程の策定や練習会場の決定に関して

[練習日程の決め方]

これまで通り、1ヵ月前を目途に日程調査を行い、参加人数が多そうな日を練習日とする。

[練習会場の決め方]

沼津市での練習の場合、参加人数が 15 人以内の場合沼津ピコ 21、参加人数が 22 人以内の場合沼文小ホール、23 人以上であれば沼文大ホールを基本とする。函南町文化センターやその他都内の練習会場についても検討予定。

6.その他注意点

- ・Twitterをはじめとする SNS への誤解を招くような投稿は極力控える。
- ・感染症やこのガイドラインに記載のない内容でも気になったことがあれば運営チームの誰かに連絡する。
- ・愛と思いやりを持って。感染しない、させないを徹底する。

7.おわりに

運営チーム一同、今後とも部員が安全に活動でき、何事もなくまた演奏活動ないし本番ができるように努めてまいります。引き続き、他の所属団体の情報提供や練習会場のご提案などいただくと非常に助かります。これからも部員一同、安全には細心の注意を払ったうえで、輝きをめざしてがむしゃらに駆け抜けていきましょう！

※こちらの資料はその時々状況等によって基準を急遽変更する場合がございます。

ご理解とご了承のほどよろしくお願いいたします。

参考 URL

- ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について

<http://shinai-clinic.com/emergency-bulletin/>

- ・国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html#yobou

- ・新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html#c2>

- ・ヤマハ、管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験

https://jp.yamaha.com/products/contents/winds/visualization_experiment/index.html

- ・東京都交響楽団、微粒子工学や医療の専門家との実験

<https://ontomo-mag.com/article/report/tmsso-experiment/>

- ・沼津市民文化センター小ホール配置図例

<https://numazu-kousya.jp/culture/images/syouen.pdf>

- ・沼津市民文化センター大ホール配置図例

<https://numazu-kousya.jp/culture/images/daien.pdf>